

CASBEE[®] さいたま2016年版 | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEEさいたま2016年版

使用評価ソフト: CASBEEさいたま2016ver.1.0

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)岩槻人形博物館	階数	地上1F
建設地	さいたま市岩槻区	構造	RC造
用途地域	近隣商業地域、準防火地域	平均居住人員	50人以上 人
地域区分	5地域	年間使用時間	2,000 時間/年(想定値)
建物用途	集会所	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2019年2月 予定	評価の実施日	2017年10月5日
敷地面積	7,547 m ²	作成者	新井
建築面積	2,411 m ²	確認日	2017年10月5日
延床面積	2,153 m ²	確認者	新井



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 2.1 ★★★★★☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

30%: ★★★★★ 60%: ★★★★★ 80%: ★★★★★ 100%: ☆☆ 100%超: ☆

①参照値 100%
②建築物の取組み 89%
③上記+②以外の 79%
④上記+ 79%

92 (kg-CO₂/年・m²)

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.4

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.3

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.7

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 3.4

LR のスコア = 3.8

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.6

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.3

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.3

3 設計上の配慮事項		
総合 ・計画地周辺は北側に宿場町の風情を残す日光御成道、南側に城下町の風情を残す裏小路の道筋が残り、寺社仏閣を含め歴史・文化資源が点在している。また計画敷地周囲には、低層住宅が立ち並んでいる。このような様々な機能やスケールをもった建物が混在する計画地の特性に配慮した計画とする。		その他 0
Q1 室内環境 展示室への配慮 空調温湿度条件は温度：夏季22±1℃、冬季24±1℃、湿度55±5%	Q2 サービス性能 ・博物館内のゾーニングを明快にし、来館者にとって分かりやすい内部空間とする ・車椅子利用等を想定したバリアフリーを徹底し、さらにはだれも使いやすいユニバーサルデザインを実践する	Q3 室外環境(敷地内) ・地域の特性や周辺環境を踏まえ、軒の出の大きな勾配屋根による伝統的なデザインを採用 ・車で来館する利用者が多いことを想定し、敷地内到来館者用駐車場を確保する
LR1 エネルギー ・自然エネルギー(太陽光、昼光利用等)の積極的活用 ・蓄熱を利用することで電力消費の平準化を行う ・LED照明を採用	LR2 資源・マテリアル ・リサイクル材(電炉材)を使用 ・節水器具を採用	LR3 敷地外環境 ・日影規制を遵守し周辺環境への影響を最小限に抑える ・敷地周囲の住宅に対し屋外設備機器などの騒音、光害、排気ガスなどの影響を抑えた計画

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される